

「断る勇氣持って」 薬物の危険性学ば

鷗川高で講演会

【むかわ】函館税関苫小牧税関支署による薬物の乱用防止を呼び掛ける講演会が20日、鷗川高で開かれ、全校生徒約130人が薬物の危険性や税関の仕事内容について理解を深めた。

同税関支署の高橋伸宏統括監視官が、過去に摘発した覚醒剤密輸の事例とともに薬物が身体に与える影響を紹介し、「誘われても断る勇氣を持つことが重要」と訴えた。

薬物探知のデモンストラーションでは、新千歳空港で活躍する麻薬探知犬マックス号がハンドラー（訓練士）とともに登場。マックス号が、大麻のにおいがする布が入ったかばんを数秒

で嗅ぎ分けると、生徒たちから拍手が起こった。写真。

函館税関では12日から31日までを「不正薬物、銃器、金及びテロ関連物資取締強化期間」としており、同税関支署の高城典裕支署長は「この時期に講演を行えてよかった。少しでも興味を持って税関を目指してくれる人が増えれば」と話した。

（竹田菜七）

